

はじめに



京都市長 門川 大作

「年，歳」と書く「とし」という言葉は，古くは稲を「とし」といい，あるいはその稲が実ることも「とし」といったことが，語源だそうです。年齢を重ねることは，まさに豊穰な実りのときを迎えることなのですね。

私は，そのような人生で最も輝かしい年齢にある高齢者の皆様の豊かな知識は，まちの貴重な財産だと思っています。そして，高齢者の皆様の知恵や経験が活かされる安心安全なまちを実現することが，これからの京都のまちづくりにおいて大変重要だと考えています。

そうした観点から，高齢者施策を総合的に推進するために策定致しましたが，この「第4期京都市民長寿すこやかプラン」です。

本プランは，市民の皆様と共に進める市政の羅針盤，「京都未来まちづくりプラン」（平成21年1月策定）を，高齢者保健福祉の分野で具体化するものです。目指すのは，高齢者の皆様お一人おひとりが，自らの意思に基づいて，住み慣れた地域でいきいきと健やかに暮らせるまちを実現することです。

「京都に住んで良かったね」。私は，市民の皆様と共に汗する「共汗」によって本プランを着実に推進し，高齢者をはじめ全ての皆様に心からそう実感していただける京都を，必ず実現する決意です。どうか皆様の御理解・御協力をお願いします。

結びに，プランの策定に多大の御協力をいただきました京都市民長寿すこやかプラン推進協議会委員の皆様，貴重な御意見・御提言をいただきました市民の皆様，並びに全ての関係者の皆様に，心から御礼申し上げます。

平成21年3月